

○委員長（島 昌之）

- ・ 開会宣告
 - ・ 議題の確認
-

1 調査事件

(1) アーバンスポーツの普及・振興について

○委員長（島 昌之）

- ・ 議題宣告
- ・ 本市の現状把握し、今後の調査を進める上で大変有意義だったのではないかと考えている。
- ・ 早速ではあるが、先ほどの懇談会を踏まえて委員の皆様から御意見などあれば、伺いたいと思っている。
- ・ 各委員からの発言をお願いしたいと思う。

○福島 恭二委員

- ・ 懇談会はやったけれども、あの人達はこっちが呼んだんだっただか。（「はい。」と島委員長）いや、何か向こうの要望みたいなものがこれだけというふうに決まっていなくて、ばふらっとしているから、これでは何に絞っていいのかわかるところで勝手に判断していいんだなと思った。それだけである。

○工藤 篤委員

- ・ できれば応えてあげたいなという思いはあるが、予算の関係とかいろいろあるので既存の施設を上手く利用して、対応できることも考えなきゃいかないと、考えたいなと思っているが、その時点では相手方、あの方々の意見を聞きながら進めていく。
- ・ いずれにしても何らかの答えはきちんと出していきたいなと思った。そういう意味では、行政調査の中で、またいろんなものが見られたり、そういうものに触れられればいいかなと思って楽しみにしている。

○吉田 崇仁委員

- ・ 出村委員からお話があったが、このアーバンスポーツというのは考え方によったら、そんなに高額な事業費がかからない。
- ・ 今、工藤委員からお話があったように既存の施設を使うことも必要だし、また新規のものに対してもそんなに高額な事業費でなければ、来年度からでも早めに。
- ・ 今日会長から言われたけれども、早めにこれを進めなければ、2年も3年もといえれば、もう次のオリンピックにはもうそういう優秀な子供たちが函館からは出ないのではないかなとも思う。

○出村 ゆかり委員

- ・ 先ほど集まったときに、議題が特に意見交換という感じだったので、協会の皆さんも私達も自由に自分の経験した中で申し上げたけれども、やっぱり活動を進めていく上では整備していく方向に行かざるを得ない状況に何かなくなってしまったし、でもそうあるべきだとも思ったし——というちょっと複雑なところだ。

- ・ 本本当にアーバンスポーツは始まったばかりで、今回の調査が全く初めてのものなので、これからというところだったが、何かいろいろと考えさせられる。先ほどの福島委員のおっしゃったこともそうであるし、いろいろと皆さんの意見を聞いた上で改めて考えさせられたなというところはある。
- ・ その中でやっぱり前向きに、整備してあげたいなという気持ちが芽生えたところは正直な意見だ。（「全部やるわけではない」と工藤委員。「こういうのは一つずつ、優先順位を決めてやっていくものだ」と福島委員。）

○市戸 ゆたか委員

- ・ 私もアーバンスポーツという大きなくくりになると、いろんなスポーツがあるからどういうふうに施設を造っていったらいいのかと自分の中でも頭が整理できなかったが、今日話を聞いていて別々に考えればいいんだと思った。
- ・ マリンスポーツのサーフィンは、サーフィン会場をきちんと整備できるものは整備してあげて、あとボルダリングやスケートボードは、またその2つなり3つなりの競技ができるような——さっき見たらその大きな建物じゃなくても、そのボルダリングの建物だけあれば——リードというのか、何というのか、それがあるだけでもいいのかなといういろいろな発想が出てきたので、本当に今日協会の皆さんと懇談できてよかったなど、整理した上で調査に臨めるなど思ったので、また調査してきてから函館といろんな比較をしてどうなのかなというイメージをつけたいなど思った。

○高橋 千晶委員

- ・ 私もどういう施設なのか全然全く想像つかなかったが、別々に造るという方法もあるだろうし、さっき青森かな、写真でボルダリングの手前にカーリング場が写っていたりだとかして、きっとその地域で進めていこうというスポーツの複合施設を造ったのではないかなと思うけれども、函館でどういスポーツを支援していくかという議論もこれから必要だと思う。
- ・ さっき提案もあったけれど、その下支えをするための、人口を増やすために教育の部分でどういうことができるのかとか、全道的に高校の存続が今厳しいところも何か特色をとやっている中で、そういうスポーツを取り入れていくというのも一つの手だなど。奥尻がスキューバダイビングを授業の中でも取り入れて、生徒を島外からどんどん増やしているというのもすごくいい事例だと思うが、それも一つの方法だなど、新しい視点もいただけたのでよかったと思った。

○茂木 修委員

- ・ 私は、初めて協会とちょっと話をさせていただいたので、まずは非常に有意義な、率直ないろんな現状や意見を聞くことができ大変よかったなど。その上で閉会中の調査をするにも大変有意義だったというふうに思っているし、函館の波がすばらしいというのも、正直に言って知らなかった。そういったことも非常に参考になった。
- ・ 競技人口も結構いて、おそらく潜在的にはまだまだいるんだろうと思う。
- ・ だから、函館市の取組次第によっては、まだまだ増えていくんだろうなというそういう期待も持てた、そういう懇談会だったと思う。

○委員長（島 昌之）

- ・ その他、各委員から何か発言あるか。（なし）

- ・ 懇談会で確認した本市の現状や課題とその解決に向けた取り組みの方向性、また委員の皆様から発言いただいた内容を含め、静岡市、笠間市、横須賀市の行政調査に活かしてまいりたいと考えている。
 - ・ 次に、前回の委員会において、作成を正副に一任いただいた行政調査の調査票についてだが、内容について、皆様いかがか。(なし)
 - ・ それでは、調査票については静岡市、笠間市、横須賀市に送付させていただく。
 - ・ その他、本件について各委員から何か発言あるか。(なし)
 - ・ 議題終結宣言
-

2 その他

○委員長(島 昌之)

- ・ 次に、2のその他だが、各委員から何か発言あるか。(なし)
- ・ 散会宣告

午後2時47分散会